

初台リハビリテーション病院 区西南部地域リハビリテーション支援センターの指定を受けました

特殊な医療を除き地理的条件などを考慮した一体の区域として、東京都においては7つの医療圏があります。その二次医療圏のリハビリテーションにおいて「地域リハビリテーション支援センター」が設置されており、初台リハビリテーション病院は区西南部(渋谷区・世田谷区・目黒区)に位置付けられています。

この度、初台リハビリテーション病院は東京都より平成26年4月から3年間の指定を受けることとなりました。地域でのリハビリテーション医療を推進する社会的役割を果たしてゆくのに極めて貴重な機会と考え、当院の持つ人的資源や現在まで培ってきたリハビリテーションへの取り組みなど合わせ、チャレンジしたいと強く願っております。

船橋市立リハビリテーション病院 3月23日、市民公開講座を開催しました

開院以来毎年実施し、今回で6回目となります。今回はテーマを「食事と運動で元気で楽しくいきいき健康」とし、管理栄養士・理学療法士が講演を行いました。メタボ・やせすぎに注意し、寝たきりや要介護の原因となる「ロコモ」を予防してずっと健康であるために…当院のおすすめレシピを紹介したり、実際に体を動かしながら身体機能をチェックしたり参加頂いた市民の皆様からは大変ご好評を頂きました。次回もまた是非皆様ご参加下さい。



船橋市立リハビリテーションセンター 笑顔と元気が溢れる場所

本年4月1日より輝生会が指定管理を承りました船橋市リハビリセンターでは、各種リハビリテーションの前後の時間に、ゆっくりとくつろいでいただけるような環境づくりを目指しております。利用者さまから「日常の生活の一部として、この施設でのリハビリテーションを組み込んでいます」という言葉もいただき、さらに環境を整備し、より良い気持ちで過ごしていただけるように励んでいます。



在宅総合ケアセンター元浅草 恒例お花見ドライブ

在宅総合ケアセンター元浅草の通所リハビリテーションでは、毎年この時期恒例の「お花見ドライブ」を実施しました。山谷堀～墨田公園まで通所リハビリの送迎車に利用者の方を1台に6名程度お乗りいただき「お花見ドライブ」をしてきました。利用者の方からは「墨田公園の桜とスカイツリーと一緒に見られて最高に幸せ!」など、うれしい言葉もいただきました。今後も継続して「お花見ドライブ」を実施していきたいと思ひます。



在宅総合ケアセンター成城 住み慣れた地域で安心して暮らせるためのモデル事業に参画

昨年8月より世田谷区の委託事業である「認知症初期集中支援チームモデル事業」を実施しております。本事業の目的は、従来の認知症ケアが、認知症状が進行してから対応するケースが主であったのに対し、できるだけ早い段階で、医師や看護師や地域包括支援センター職員等の専門職がチームとなって本人・家族を支援し、適切な医療や介護サービスに結びつけることにより、住み慣れた地域で安全に安心して暮らしていけるようにすることです。昨年度は13人の方を担当し、概ねそれぞれの医療や介護保険のサービスに繋げ、適切な支援体制を構築することができました。平成26年度も本事業を継続し、地域包括支援センターや関係する各事業者と連携して、地域医療の発展に貢献してまいります。

季刊情報誌「輝net」 編集・発行 医療法人社団 輝生会 本部/〒151-0071 東京都渋谷区本町3-52-6 http://www.kiseikai-reha.com

初台リハビリテーション病院 〒151-0071 東京都渋谷区本町3-53-3 TEL.03-5365-8500 http://www.hatsudai-reha.or.jp
船橋市立リハビリテーション病院 〒273-0866 千葉県船橋市夏見台4-26-1 TEL.047-439-1200 http://www.funabashi-reha.com
船橋市リハビリセンター 〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-519-3 TEL.047-468-2001 http://funabashi-rehacen.com
在宅総合ケアセンター元浅草 〒111-0041 東京都台東区元浅草1-6-17 TEL.03-5828-8031 http://motoasakusa-reha.com
在宅総合ケアセンター成城 〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷3-8-7 TEL.03-5429-2292 http://seijo-reha.com

本誌へのご意見ご要望はメールにてお寄せください。 info@hatsudai-reha.or.jp



kisei・kai
情 報 誌



平成26年度スタートに際して

法人内の異動により、平成26年2月1日付で初台リハビリテーション病院の院長に就任した梅津と申します。

医療法人輝生会へは平成14年4月に入職、平成20年3月までの6年間は初台、平成20年4月から平成26年1月までのほぼ6年間は船橋市立リハビリテーション病院で勤務しました。6年ぶりに帰ってきた初台は、長年続いていた病院前の道路工事が完了して周辺環境はより都会的な、洗練された印象が強くなっていました。しかし内部は相変わらず狭いスペースに多くの患者さま、ご家族、職員がすし詰めの状態で、田園風景に囲まれた船橋では感じたことのない閉塞感と言うか、息苦しさは否めませんでした。最近になりようやく都会の環境に体が順応してきたようで、楽に呼吸できるようになっています。

ところで、今年初台リハビリテーション病院は、区西南部の地域リハビリテーション支援センターに指定されること

になりました。これを機会に、病院としてのこれまでの様々な取り組みに加えて、患者さまの視点に立った患者サービスのより一層の向上、急性期病院だけでなく、かかりつけ医をはじめとする地域で生活期を支える多様な施設との連携強化、更に患者さま、ご家族以外の一一般の住民の方々に対する積極的な啓発活動や地域全体のリハビリテーションのレベルアップ、等に取り組んでいきたいと考えています。

今後とも、初台リハビリテーション病院をどうぞよろしくお願いいたします。



医療法人社団 輝生会
初台リハビリテーション病院
院長 梅津 博道

平成26年2月に船橋市立リハビリテーション病院に院長として着任いたしました。病院の印象は桜や柳の木が周りにあり自然に恵まれて玄関を入ると広々としていて、廊下を歩いても光の穏やかさを感じました。それに加えて、職員の満面の笑みがとても印象的でした。病院は、平成20年4月開院し7年目に入ります。この間、梅津博道前院長を先頭に、一丸となって「船橋市立リハビリテーション病院ここにあり」との強い気持ちで、リハビリテーション医療に取り組み、船橋市民はもちろん医療・福祉関係者からも多くの温かい支援を得ることができています。

昨年は「リハビリテーション・ケア合同研究大会 千葉2013」を開催し、全国から2,500名を数える参加者があったとのことでした。最近では、全国的にも病院の存在が知れ渡り、見学希望者が増えてきています。この大会でのメインテーマは「日本中にリハケアの根をはろう! 〜いちば

んの笑顔をめざして〜」であり、大会長の挨拶では、千葉県が全国一の生産量を誇る落花生のイメージから「根を張る」と、私たち医療法人社団輝生会の輝くという言葉のイメージから「笑顔」の2つをキーワードとしました、とのことでした。

平成26年の病院目標としてはこのテーマに基づき「船橋にリハケアの根を張ろう〜いちばんの笑顔で」にしました。日々の診療に取り組みながら、患者さまも、ご家族も、スタッフ、全ての人たちがいきいきとした笑顔で、毎日の生活ができることを目指したいと強く思っています。



医療法人社団 輝生会
船橋市立リハビリテーション病院
院長 石原 茂樹

基本理念と方針

- 「人間の尊厳」の保持
- 「地域リハビリテーション」の推進
- 「情報」の開示
- 「主体性・自己決定権」の尊重
- 「ノーマライゼーション」の実現

患者さまの権利

- 人権を尊重される権利
- 最善の医療を受ける権利
- 自らの意志で選択・決定する権利
- 自分の診療の情報や記録を知り、求める権利
- プライバシーの保護を求める権利

輝生会入社式より

2014年4月新入職員148名を迎えて



数日前から強い北風が日本中を吹き荒れ、やっと満開になった桜の木々を揺らし、お花見前に土に還ってしまうのでは…と不安になった方も多いのではないかと思います。

その心配を振り払い、4月1日は朝から穏やかに晴れ、前日までの天候が嘘のようでした。9時30分から約1時間、新宿中央公園の満開の桜が眼下に見える新宿住友ビル47階スカイホールにおいて、医師6名・看護師32名・介護福祉士17名・理学療法士36名・作業療法士33名・言語聴覚士13名・ソーシャルワーカー2名・栄養士5名・薬剤師1名・サポートスタッフ3名、総勢148名の入社式が執り行われました。スカイホールで一番広い会場ですが、後方の壁までぎっしり椅子が並べられ、前後左右のスペースが少なく窮屈だったのではと、準備スタッフは懸念しておりました。



148名の新入職員一人ひとりに辞令交付を手渡す石川理事長

理事長挨拶後の辞令交付では、前から順に席を立ち整列し、左右の理事席に向かい一礼。多くの方が緊張の表情の中、目が合うと採用試験以来の再会に少し照れた笑顔で小さく会釈をされる。「国家試験合格、そして就職おめでとう」と言う思いを込めて、笑顔を返しました。一人ひとりに石川理事長から辞令が手渡され、熱い一言を声かけていただく。20分前後で行われるこの儀式に、新年度を迎えたことを改めて実感しました。

入社式終了後、ご来賓のセコム医療システム株式会社代表取締役社長、布施達朗様から『セコムの理念と医療

事業の取り組み』のテーマでご講演をいただきました。セコムグループが目指しているもの、警備会社として開設したセコムが医療界に進出した経緯と具体的な展開。提携病院の紹介から現在と将来に向けての国際的モデル構想など、そして輝生会との共通点なども知る機会となりました。最後におっしゃられた「与えられたことを実践するのみでなく、自分自身で考え、どこまでも成長し続けることが大切です」の言葉が印象的でした。



ご来賓として講演をいただきましたセコム医療システム(株)の布施達朗社長



法人の理念と使命を新入職員に説く石川理事長

そのあと、石川理事長から『2014年度新入職員を歓迎して』のテーマで、医療福祉の原点から始まり、世界の医療福祉史からリハビリテーションの変遷と課題を話されました。続いて輝生会のルーツと初台開設から12年間の経緯、この春から5拠点目になる船橋市リハビリセンターの紹介、東京23区と船橋市の地域リハシステムの仕組みを伺い、最後に最も大切な「法人の理念と使命」について話されました。

新入職員として初めて聞く石川理事長のリハビリテーション・ケアに対する一貫した思いに感動し、会場内の気温がさらに高くなったように感じました。明日からの研修、そして各現場に入られた時、この感動を忘れないでと願っています。

(法人教育研修局・小林由紀子)

指定管理者として運営を委託された

船橋市リハビリセンターのご紹介



地域リハビリテーション支援拠点となる船橋市リハビリセンター全景

平成26年4月1日より医療法人社団輝生会が船橋市リハビリセンターの指定管理者を承りました。これまで船橋市では「船橋市ケア・リハビリセンター」という名称で、高齢者を中心として主に介護予防を目的としたリハビリ事業を実施してきました。しかし、これからますます高齢化が進んでいく船橋市を支えていくためには、地域の連携に基づく地域リハビリ体制の構築が急務の課題とされました。それを受けてこれまでのケア・リハビリセンター内のリハビリセンターを「地域リハビリテーション支援拠点」として機能させるために、その業務運営を指定管理者という形で船橋市から任されることになりました。

4月1日からこれまで実施しておりましたリハビリ事業を引き継ぐ形で活動がスタートしました。高齢者の介護予防と健康増進を目的にトレーニングマシンを使用して生活の活性化を目指す「パワーリハビリ教室」、その後の継続的な運動習慣の定着を目指す「パワーリハビリフォローアップ」、そして水中歩行練習をメインにした「プールリハビリ」を展開しております。毎日多くの利用者さまたちが集い、汗を流したり歓談したりと地域のサロンのような場になっています。さらにリハビリに精通したソーシャルワーカーによる「リハビリ総合相談」も開設いたしましたので、お気軽にお声をかけてください。

今後はこのような予防を主としたリハビリ事業に加え、施設をリニューアルして診療所(船橋市リハビリセンタークリニック)開設へ向けた準備を進めています。リハビリ機能をしっかりと備えたクリニックとして本年7月1日のスタートに向けて準備をしています。クリニックの機能として



水中歩行訓練を行うプールリハビリ

は、リハビリ専門の医師による外来診療、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による外来リハビリ、通所リハビリ、訪問リハビリ等の機能向上に加えて生活の活性化を目指したリハビリサービスを充実させる予定です。さらに平成27年4月からは「訪問看護ステーション」も開設予定になっており、より地域に密着した医療サービスのご提供ができと思っています。

今後、地域の医療スタッフや生活を支える方々とも緊密な連携を図り、高齢者や傷病等により障がいを持たれた方々が、住み慣れた地域で再び輝いた生活が送れるようお手伝いして行きたいと考えています。このような地域リハビリの推進のため、地域の専門職の勉強会開催、市民向けのリーフレットの作成や勉強会の開催などの地域活動も実施していく予定です。

新たにスタートしたばかりの船橋市リハビリセンターですが、今後ともよろしくお願いいたします！

(船橋市リハビリセンター 副センター長・伊藤隆夫)



船橋市リハビリセンターと連携する船橋市立リハビリテーション病院